＝平成１５年度海洋教育授業　Ｂ＆Ｇ海洋体験セミナー　こども座談会＝

年は違ってもみんな友だち。一緒になって沖縄の海をエンジョイ！

毎年、夏休みを利用してＢ＆Ｇ財団が実施している、Ｂ＆Ｇ海洋体験セミナー。今年も、沖縄本島・本部町にある滞在型マリンスポーツ体験施設「マリンピアザ・オキナワ」を舞台に、７月２７日から８月３０日までの日程で、６組（１組約９０名）の子供たちが盛りだくさんのプログラムが用意された４泊５日のセミナーを体験しました。
Ｂ＆Ｇアンドリーでは、８月４日から８日までの日程で参加したＢ組の子供たち４名による座談会を企画しましたので、ここにご紹介します。

出席者（左から）
吉田　彩乃さん（小５・岩手県）
坂本　有子さん（中３・岩手県）
木村　匠くん　（中２・北海道）
百瀬　和輝くん（小６・長野県）

■　*みんな、どんなきっかけでセミナーに参加したの？*

吉田）お祖母さんが「これは一生に一度あるかないかの機会だから、ぜひ行ってらっしゃい」って勧めてくれたので、参加しました。
坂本）アメリカにホームステイする募集に落ちてしまい、がっかりしていたんですが、このセミナーがあることを知って元気を取り戻せました。
百瀬）沖縄には行ったことがなかったので、自分から手を挙げて参加しました。沖縄でいろんなものを見聞きしたかったんです。
木村）今年の夏はＯＰのヨット大会に出るつもりでしたが、事情があって出られなくなってしまったので、こちらに参加してみました。どっちが良かったかは難しいですね。どっちも良いですから。

■ *セミナーで一番印象に残っていることは？*

吉田）ヨットに乗ったとき船長になったんですが、ヨットってチームのみんなが力を合わせないと走らないことが分かりました。帰ってきたときヨットを桟橋にぶつけてしまい、「船長、どこに舵を切ってんだよ！」って、みんなに言われちゃいましたが、とても楽しい経験でした。

「どうしたら前に進めるの？」知恵を出し合いながら初めてのヨットに挑戦！

■ *木村君は普段からヨットの大会に出ているそうだけど、ヨットのどんなところが楽しい？*

木村）やはり、１人１人が責任を持って操船しないと、しっかり進まないというところですね。セミナーのヨットは、いつも乗っているヨットとは種類が違いましたが、声を出して仲間をまとめながら、なかなか良く走ることができました。

今年はイルカと触れ合うことができました

坂本）私の場合、マリンスポーツもおもしろかったですが、まさかイルカに触れることができるなんて夢にも思っていませんでした。手を出したら口を寄せてきたので、いっしょに泳ぎたくなってしまいました。

木村）イルカって、もっと魚みたにヌメヌメしていると思ったら、人の肌みたいにスベスベしているので驚きました。やはり哺乳類なんだって思いましたね。

百瀬）生き物では、美ら海水族館で見た世界最大のイカがすごかったな。大きさが１６ｍもあって、食べられてしまいそうでした。

吉田）大きい生き物と言えば、ジンベエザメでしょう。水族館のガラスが割れたらどうしようって思いましたが、テレビで見るよりカッコよかったですね。

■ *生き物の話題になったので、沖縄の海の感想を聞かせてください。*

百瀬）僕は長野に住んでいるので、海水浴に行くのは２年に一度ぐらいなんです。行くとしたら新潟の海になるのですが、泳ぐときはいつも海底を観察しています。セミナーではグラスボートで海中を見ましたが、水の色が全然違いました。場所によって、こんなに違うものなのかって驚きました。
木村）確かに、僕の住んでいる室蘭の海とも色が違います。室蘭の海もきれいですが、透明度が違って底までよく見えるので驚きました。住んでいる魚も違うし、マングローブへ行ったときは干満の差が大きいことに気づきました。また、自然について言えば、沖縄の台風はすごかったですね（Ｂ組は台風１０号のため、３日目の日程が屋内に変更されました)。北海道は、ほとんどの台風が熱帯低気圧になってしまうので、本物の台風が体験できて良かったと思いました。ヨットに乗っているので風には慣れているつもりでしたが、窓越しに見た沖縄の台風の風は半端ではありませんでした。雨つぶの大きさにも驚きました。

■ *日程が変更されてしまいましたが、見方を変えれば予定にはなかった台風という沖縄の自然を垣間見ることができました。最後に、みんなセミナーで友だちはできましたか？*

百瀬）友だちになった人の部屋に遊びに行ったら、そこでどんどん友だちが増えていきました。１５人ぐらいはできたと思います。全員に年賀状を出したいな。
木村）確かに、席が隣になったり同じ部屋になることで、いろいろな友だちができました。すべての友だちと長くつきあえるかどうか分かりませんが、セミナーを通じて１０人は新しい友だちができました。
坂本）班をまとめる年長の中３なので、どうやって下の子と接していこうか不安でしたが、意外にも年少の子たちからいろいろ話しかけてきてくれました。普段、学校では年の違う子と話す機会が少ないので、とても楽しかったですね。
吉田）私は年少だったこともあって、班のなかではいつもあだ名で呼ばれていましたが、友だちは２０人ぐらいできました。最初は心細かったですが、年上の人たちがどんどん話しかけてくれるのでホッしました。ここで仲良くなった人たちとは、写真や手紙を送って、ずっと友だちでいたいです。

■ *このセミナーの特徴の１つは、年齢が違う子同士で班をつくることにありましたが、年上の子も年下の子も一緒になって楽しい生活を送ることができたようですね。この経験は、将来きっと役に立つことと思います。セミナーでできた友だちとは、いつまでも仲良しでいてください。*

マリンスポーツは、みんなが協力しなければ楽しめません

沖縄の伝統的な船、サバニも体験。意外に速く走るのでびっくり！

慶佐次のマングローブには、見たことのないさまざまな生き物が生息していました

世界で２番目に大きい美ら海博物館を見学。全長８ｍもあるジンベエザメなどを目の前で観察することができました

沖縄の揚げ菓子、サーターアンダギーを作ったときは、みんな、やけに真剣な顔つきだった！